

# 不退転

第 52 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

## 期末テストが始まる

4日(火)から期末テストが始まっています。

テストは、最適な時間配分が重要です！そこで、『テストや試験の効率の良い解き方のコツ』を紹介します。



- ① 最初にすべての問題をさらっと確認する。
- ② 簡単に短時間で解ける問題を先に優先し、時間のかかる問題は後回しにする。
- ③ 後回しにする問題はチェックマークをつける。
- ④ 時間のかかる問題はなるべく中断しないで集中して解くようにする。
- ⑤ 最後の1分1秒まで、あきらめずに問題を解く。
- ⑥ 全問解き終わって時間が余れば、しっかりと見直しをする。

確実に点の取れる問題から解き始め、時間のかかる問題は残りの時間で集中して一気に解くようにすると効率よく時間を使うことができます。解く問題をあちこち移動したり、順番通りに解いてわからないたびに悩むのは、時間の無駄です。

## 実習生からの手紙②



拝啓 厳しい暑さが続きますが、東江中学校の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。養護実習では、校長先生をはじめ、教頭先生、実習担当の養護教諭・山本みどり先生、3年2組担任の下地三保子先生、皆様に大変お世話になりました。おかげさまで無事実習を終えさせて頂きましたこと、感謝申し上げます。

4週間という長いようで短い実習期間ではありましたが、様々な体験をさせて頂きました。保健指導では、不十分な指導案に、生徒を引きつける発表の仕方など、精力的に助言して頂いたこと、そして実践して自分の力不足を痛感し、教えることの難しさを身をもって体験しました。

その一方、保健室におけるみどり先生の仕事を間近に学ぶ中で、現場での他職種連携の重要性を感じ、また一社会人としての礼儀を学ぶ場ともなりました。職員が生徒一人一人のことを思い考え、時には校外の職員と連携をとり、学校全体が生徒を支えていることを知りました。東江中学校で実習させていただいたことで、養護教諭としてのやりがい、生徒の命を預かり守る責任の重さや大切さを見出すことができました。この4週間の経験が今後の私の進路に多大な影響を及ぼすことは言うまでもありません。

本当にありがとうございました。  
皆様の健康と、東江中学校のご発展をお祈り申し上げます。

名桜大学 眞志喜 未希菜 謹白

沖縄タイムス 2017年7月4日  
**大弦小弦**  
「地元の宮森小で起きたことを、もっと伝えたい」。半年前に解散したうるま市石川の小中学生でつくる劇団「石川ひまわりキッズシアター」が6月28日、再始動した。29日付の記事を読み、胸が熱くなった▼上演した劇は1959年6月30日、石川・宮森小への米軍機墜落を題材にした「私たちの空」。亡くなった児童11人と住民7人の無念さ、遺族の悲しみをダンスや歌で表現したという▼5年前、劇団の結成を取材した。デビュー作は芸人・小那覇舞天さんの心をテーマにした現代劇。終戦直後、約3万の避難民がひしめく石川の収容所内を回って三線を弾き「ぬちぬちぐすいじさびら」と踊ったのはなぜか。メンバーは祖父父母に舞天さんの思い出話を聞き、沖縄戦を調べた▼学ぶうちに歴史上の人物だった舞天さんが身近なおじさんになり、そのすごさを伝えたくなる。舞台には「悲しむ人々を漫談で笑わせ、励まし続けた舞天さんを知ってほしい」との思いがあふれていた▼劇団が再結成されたのは子どもたちが声を上げたからだ。「いまだに墜落を思い出して涙を流す人がいる。ずっと伝えたいために続けたい」と▼舞天さんや宮森墜落を考えていくと、命の重さを知ることに行き着く。墜落から58年が過ぎ、風化が危惧される中で、しっかり受け継ごうとする子どもたちが地元にいる。(磯野直)

<2017・7・4>